

慶應義塾大学SFC研究所
X.SDG Lab.



ビヨンドSDGsの議論へむけて

2026年2月

慶應義塾大学大学院教授

Keio STAR 共同代表

蟹江憲史

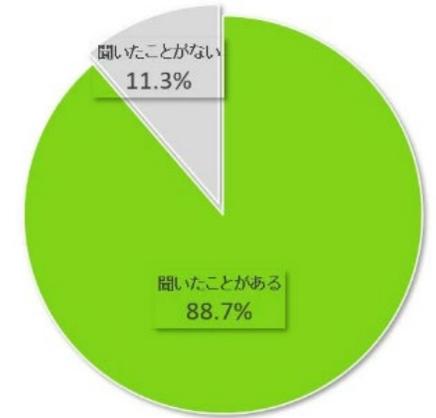
SDGsとビヨンドSDGs

- SDGsの遅々とした進展と達成目標年まであと4年
- 世界情勢の変化
 - コロナ禍、戦争、技術革新（AI、ネット利用、宇宙開発など）、政治経済動向とマルチラテラリズムをめぐる変化
- 日本における高い認知度
- 2025年VNR（SDGs進捗レビュー）
 - 日本政府は「ブレ」ずにSDGsを推進することを宣言
 - VNRをポスト2030アジェンダ（ビヨンドSDGs）へつなげる
 - 改訂SDGs実施指針（2023年）

我が国のSDGsの進捗状況についてレビューしつつ、特に各目標に共通する横串の諸課題について、SDGsは全体として一体で不可分という観点から、必要に応じて、分野別のレビューを行う。その際、科学的エビデンスに基づくSDGsの進捗管理及び達成に向けた取組を進めていくこと、かかる取組を国際社会全体のSDGs達成に向けた取組に有機的に統合すること及び国際社会において主導権を発揮していくことを十分に踏まえる。以上の取組を通じて、2030年以降も見据えた国際的な議論も主導していく。

あなたは「SDGs」という言葉を聞いたことがありますか

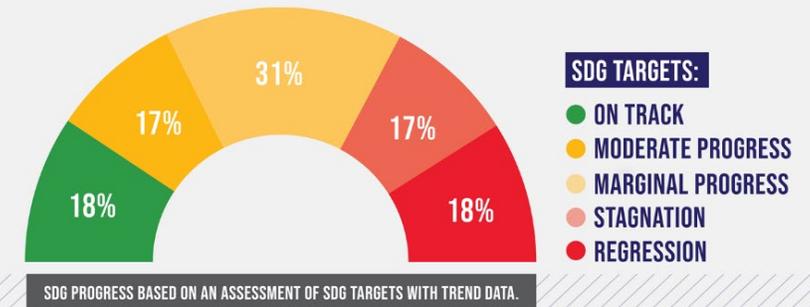
朝日新聞第10回認知度調査より
(2024年1月実施)



THESDGREPORT2025

ONLY **35%** OF TARGETS ARE ON TRACK
OR MAKING MODERATE PROGRESS

WE MUST MAXIMIZE THE FINAL FIVE YEARS
FOR REAL COMMITMENT AND DELIVERY



SDG TARGETS:

- ON TRACK
- MODERATE PROGRESS
- MARGINAL PROGRESS
- STAGNATION
- REGRESSION



United Nations

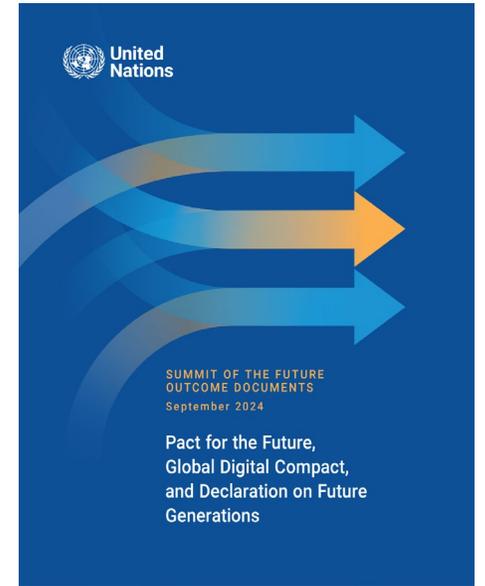
Department of Economic and Social Affairs

FOR FULL REPORT
UNSTATS.UN.ORG/SDGS/REPORT/2025

ビヨンドSDGs議論の背景

1) 国連未来への協定 (2024年9月)

- ビヨンドSDGs目標論議の開始: ポスト2030アジェンダ**2027**年から検討開始
 - GDPを**補完し、あるいは超える**フレームワークの開発
 - ビヨンドGDPハイレベル専門家グループ中間報告書(2025年11月): **ウェルビーイング、公平性と包摂性、持続可能性**の3つの柱
 - 宇宙の探査と平和利用についての国際協力への呼びかけ: デジタル空間、宇宙空間など**新たな空間ガバナンス**の必要性
 - **将来世代**に関する宣言



2) 大阪万博 (2025年)

- 対話の重要性、多様性の重要性、共有ビジョン (SDGs) の重要性が明らかに

SDGs+Beyond
いのち輝く未来社会

SDGsは達成できるか? そして、その先はどうする?

テーマ期間 10月2日(木)~10月12日(日)

テーマ領域 SDGs、ポストSDGs、いのち、未来社会、Society5.0 など



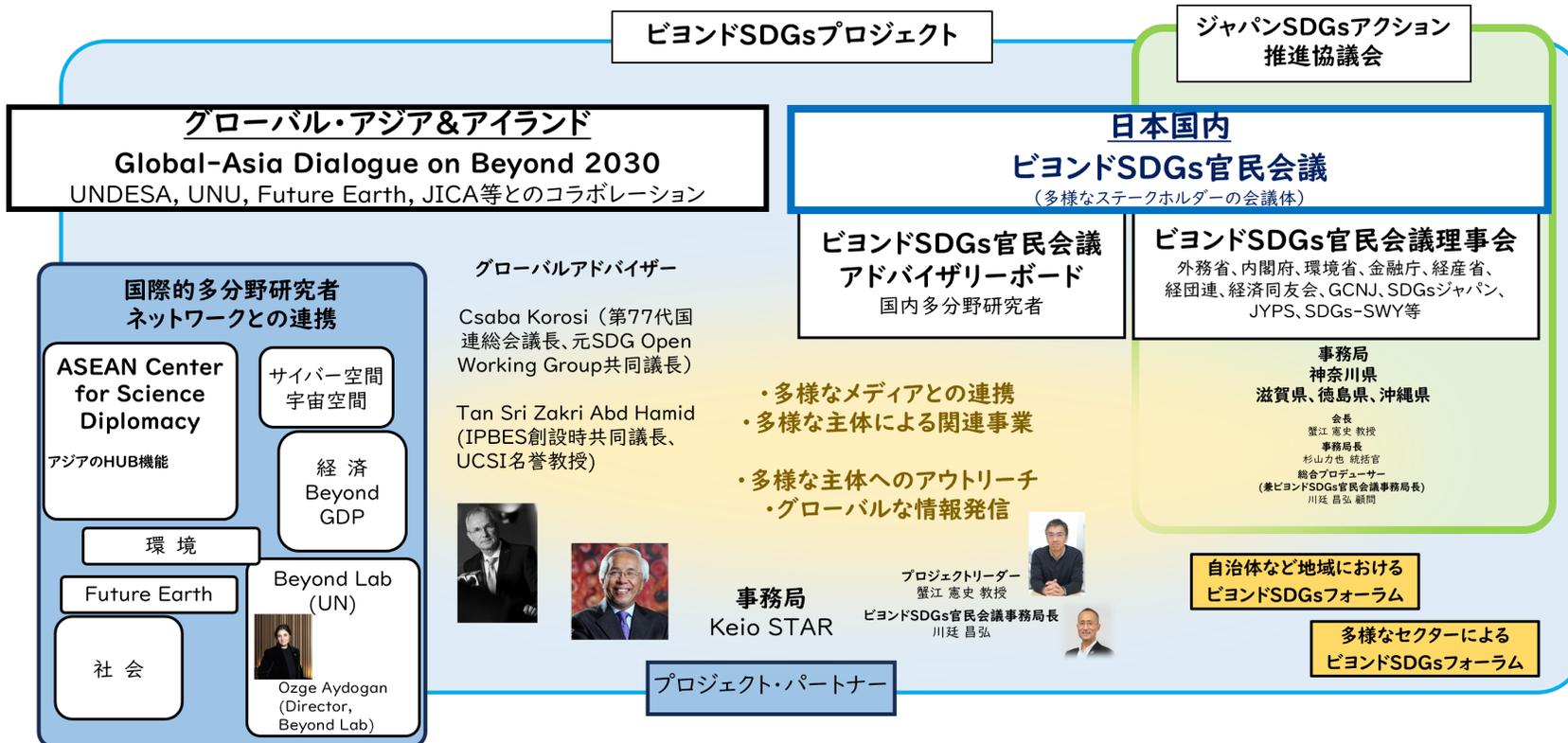
私たちが、真に豊かな未来を実現するために、足りないものはなんだろう?

BEYOND!
for beyond SDGs

3) 第1回ビヨンドSDGs官民会議

Beyond SDGsプロジェクト

- 2030年以降の時代へ向け、SDGsの先の目標・ガバナンスについての対話を実施。特に2027年以降の議論に貢献するための課題を特定。同時に、SDGs実施加速へ向けたモメンタムを構築。
- 日本国内では、「ビヨンドSDGs官民会議」が2025年1月に発足。2025年VNR発表を受ける形で9月4日大阪にて第一回会議。
- アジアや島しょ国・地域を中心に、グローバルにも議論を展開し、2025年HLPFのサイドイベントで議論。国内議論がガラパゴスにならないよう担保しつつ、国際展開・仲間づくりを実施。



私たちが、真に豊かな未来を実現するために、足りないものはなんだろう？

BEYOND!
for beyond SDGs



スタートしたビヨンドSDGs論議

• SDGsの延長が良いのではない か

- ターゲットを変えるか? そのままか?
- 進捗は悪い。延長して各国がロードマップを作るべき

• 目標を減らすのは賢明ではない

- 全ての目標はつながり包括的

• 国と国際機関任せでは不十分

• 都市とビジネスの具体的なターゲットが必要

1. ターゲットは相対的でも絶対的でもありうる
2. シナジーとトレードオフを勘案したシステムズアプローチが重要
3. 投資のX%を向けるなどこれまで見過ごされがちだった課題への言及が必要
4. ステークホルダー毎に差別化したターゲット
5. レベルに分けたターゲットを

ビヨンドSDGsへ向けた様々なオプション(例)

1. UN(多国間)での決定

- 2027年から交渉開始
- 2029年から交渉開始

2. UN外での決定(coalition of willing)

- 地域ごとの決定(アジア、欧州など)
- 都市のネットワークなどネットワークでの決定
- FSC認証のような認証システム/委員会の展開(←Forest Stewardship Councilのケース)

課題

- 実施メカニズム
- 目標・ターゲット・指標の設定と計測方法
- ファイナンス
- Scienceとの関係など

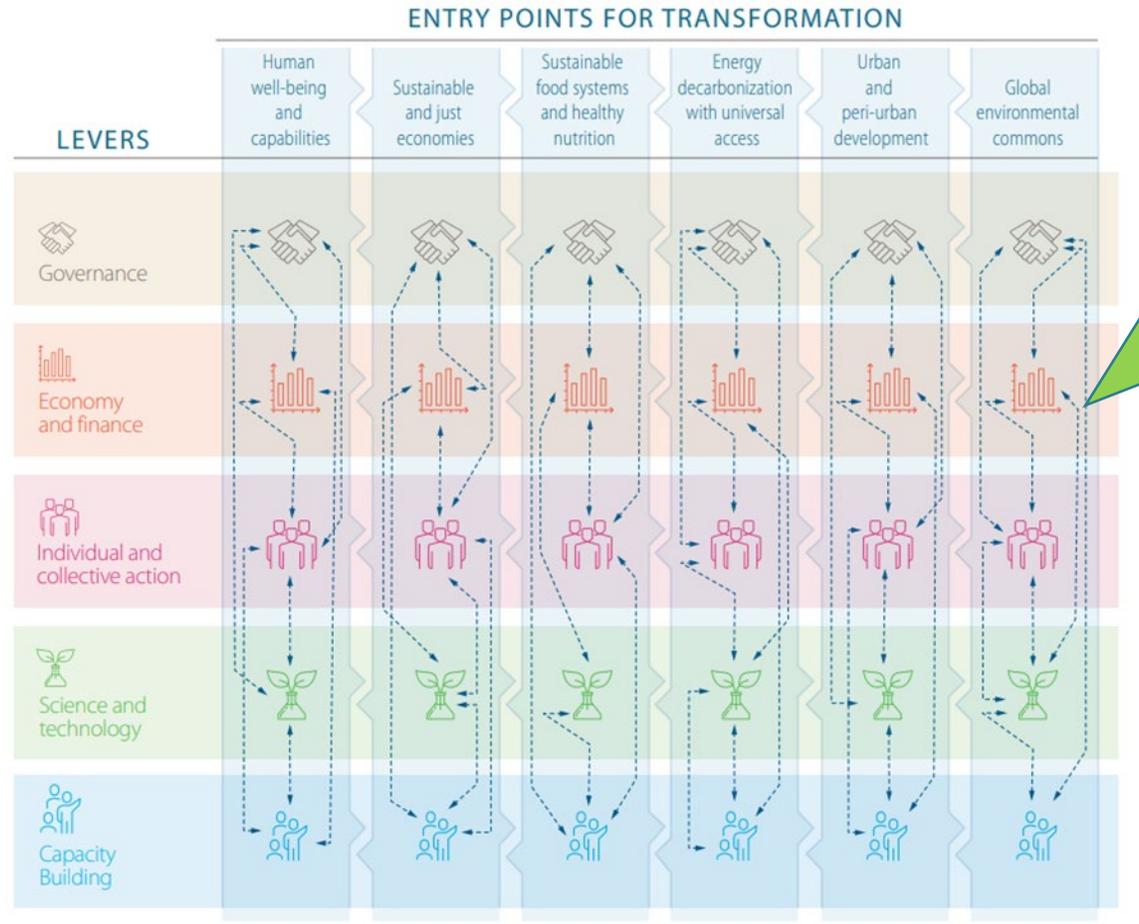
ビヨンドSDGs官民会議 進め方

1. エビデンスベースの議論:サイエンスによる状況の整理、Human と Planetの状況、先行きの提示。ガバナンスのあり方や目標年のあり方も含めて。
2. ポジティブな議論:出てきた意見・考えのマッピングが目的、善悪の判断はしない。否定しない。
3. 多様な場での議論:ビヨンドSDGs官民会議以外にも多様な主体が多様な場で議論を行うことが理想的。ビヨンドSDGs官民会議で議論の結果を集められるのが理想。



GSDR2023 SDGs達成へ向けた変革のためのフレームワーク

TRANSFORMATIONS TO THE SDGS: ENTRY POINTS AND LEVERS



“テコ”

ガバナンス
経済と資金
個人と集団行動
科学技術
能力構築

“入口”

- ・ウェルビーイングと能力
- ・持続可能で公正な経済
- ・持続可能な食料システムと健全な栄養
- ・エネルギーの普遍的アクセスを伴う脱炭素化
- ・都市と郊外の発展
- ・グローバルな環境コモンズ

Pathways are context-specific configurations of levers to achieve transformation in each entry point

ビヨンドSDGs官民会議:議論の課題例

- 2030年以降で目指すべき姿(目標)は?
 - ベースとなるコンセプトは? 「誰一人取り残されない」「ウェルビーイング」「プラネタリーバウンダリーズ」?
 - 新たな課題はなにか? 宇宙、AIは?どのような目標やターゲットが必要か?
 - 目標年は?2045、2050、2075、2100?
 - SDGsの名前やフレームワークは継続すべきか、変えるべきか?
- ガバナンスのあり方は?: SDGsの良い点悪い点、どう変えるのが良いか?
 - グローバルとローカルの関係、アジアのような地域との関係は?
 - パートナーシップやネットワークの活用は?ボトムアップでどのような仕組みができるのか?
 - 実施メカニズムの課題:法的拘束力はどうすべきか?国家の役割は?
- エビデンスベースでの議論をどう進めるか?
 - 科学的エビデンスのインプットをどのように行うか?
 - 日本が推せる(比較優位のある)イシューは何か?